



美 唄

Beitoku

8020高齢者歯のコンクール

8月25日(金)午後1時より「孫歯科」において、美唄歯会主催8020高齢者歯のコンクールを開催しました。市内各医院より推薦の7名の方を対象に診査し、1位・2位を決定しました。

当日は、残暑どころか日中は熱波の到来ではと思える程の気温のなかで、お元気にお集まりいただいた皆さんには、全くもってその積極的な態度に、杖をつき・腰をまげ・TAXIに乗り、あの暑さのなかをわざわざ来ていただいたこと、誠に頭を垂れるほかありませんでした。

80歳までご健康であられるだけでも、立派なことと思いますが、さらに20本以上のご自分の歯を持って生活しておられる。刷掃・養生して管理し

ておられる、甚だ立派なことと思います。

本年は85歳の当會長老の雨田先生も積極的に範を垂れたいということでご参加下さり、道歯へは特別枠でもってご推選ということになりました。

先生の健康にかける精進は、つとに知られるところであり、今回のその意気込みを持って歯科医の8020にも活路を開くというお考えは開明的であるかもしれません。

今回本コンクールに私が工夫の余地ありと考えた2点を、この場をお借りして述べさせていただきます。

第1は歯医者側の管理の問題です。

20年前に60歳、30年前に50歳以上で、自院で治療した患者さん。20本以下になったり、転院したり、当地を去る、もしくは鬼籍に入る、色々な人生を経ていると考えられます。今年的美唄市の80歳以上の方2,366人、79歳から80歳未満316人だそうですね(8月時点で美唄市より)。80歳以上の人のカルテ、70歳から79歳までの年齢別カルテを69歳以下と別分けにして分別管理するのも対象者掘りおこしのための一つの方法かと思えます。

第2は該当者の送り迎えの必要性です。80歳以上ともなると、一人で何もかもができる訳でなく、色々な人達に助けられて生活しているケースが多い。20本以上歯があっても、TAXIをひろってまで、お見えになるのは大変ということは、十分考えられることです。

最後にいつもながら、健診場所とスタッフを提供して下さる孫担当理事に深く感謝申し上げます。



お忙しいなかかけつけていただいた平専務理事・
宝崎錠二前会長・宝崎幸子先生・事務の近藤さん、
ご協力ありがとうございました。

皆さん、次年度もよろしく奮ってご協力お願い
したいと存じます。

(小森英世記)